

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計画の名称	富山市公共下水道整備計画(防災・安全)(重点計画)
交付対象	富山市
計画の期間	平成30年度(1年間)
計画の目標	集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水リスクの増大に対し総合的な浸水対策を実施する。災害時における下水道施設の機能を確保するために下水道施設の耐震化対策及び減災対策を計画的に進める。
定量的指標 (目標値)	①平成10年度から平成25年度に都市浸水被害があった箇所、下水道による対策が必要な箇所の整備率を33%(H25年度末)から55%(H30年度末)に増加させる。 ②重要な管路の耐震化率を34.4%(H28年度末)から34.8%(H30年度末)に増加させる。 ③マンホールトイレ設置率を0.0%(H28年度末)から4.0%(H30年度末)に増加させる。
対象事業	公共下水道事業

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1. 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	富山市総合計画の「人にやさしい安心・安全なまちづくり」の政策に整合している。 富山市国土強靱化地域計画の政策に整合している。
	2. 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	「災害に強いまちづくり」「持続可能なまちづくり」を目標としている。
計画の効果・効率性	1. 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に合わせた定量的な指標となっている。
	2. 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3. 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置づけており、整合性を確保している。
	4. 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データを基にした指標であり、評価を実施できる。
	5. 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置づけており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1. 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業計画区域内の事業であり、また、事業を執行する体制も整っている。
	2. 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者からの要望が強い事業も含まれており、地元の理解を得られている。
評価結果	評価Ⅰ 事業を実施 評価Ⅱ 計画の見直し	【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの	